



Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム
オンライン招へい（太平洋同盟グループ）の記録
テーマ：ICT の利活用

1. 概要

【目的】 日本の歴史や伝統文化、先端技術を知り、日本への関心を深めることを主目的として、本プログラムを実施しました。オンラインプログラムでは、日本の ICT 支援について学び、各国での日本の技術活用や今後の協力関係について検討する機会を得ました。

【参加者】 太平洋同盟諸国（コロンビア、チリ、ペルー、メキシコ）の社会人 計 9 名
 ※五十音順

【訪問地】 東京都、北海道、宮城県、兵庫県

【日程】

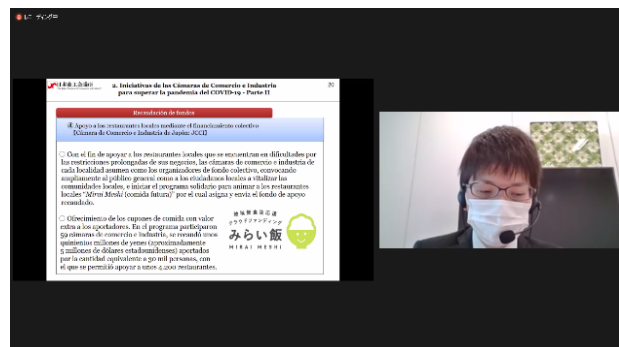
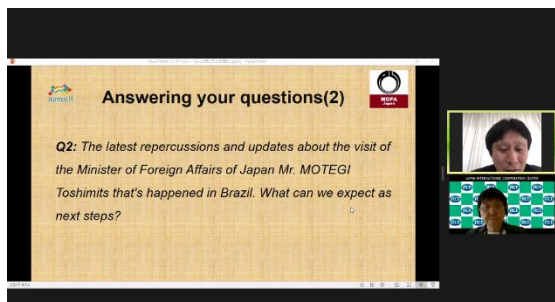
日時 (日本時間) 訪問地	内容	参加者の質問・反応
事前プログラム		
2021 年 3 月から 本プログラム終了 まで	【動画視聴】 1. 事前オリエンテーション 2. 南三陸町からのメッセージ	事前プログラム開催期間前から日本や事前プログラムに関する動画を配信されており、参加者は動画を視聴してから事前プログラムに参加しました。
2021 年 3 月 30 日(火) 9:00～9:45 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 「日本における中南米外交」 講師：外務省中南米局中米カリブ課長 正本 謙一氏 1. 講義 2. 質問への回答	参加者からは「日本と中南米地域の友情の絆について考える機会となった」等の声があがり、今後のプログラムへの意欲を新たにしました。
2021 年 4 月 27 日（火） 9:00～10:00 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 日本商工会議所・東京商工会議所 1. 講義 「コロナ禍での日本での商工会議所の活動と役割」 講師：産業政策第一部	参加者からは「日本の文化の素晴らしさや、様々な課題に対処する有益な情報を知ることができ、両国の友情の絆が強まることにもつながりました」といった声が挙がりました。

	課長 石井 豪氏 副主査 姫野 裕太氏 2. 質疑応答 3. 参加者間での意見交換	
2021 年 5 月 11 日（火） 9:00～10:00 北海道	【日本文化体験】坐禅体験 1. 「峯光寺」の紹介、小野隆見副住職の挨拶 2. 仏教や坐禅についてのお話し 3. 坐禅の方法についての説明・実演 4. 参加者の坐禅体験 5. 質疑応答・感想	住職の身に着けている装束に意味があるかといった質問や、坐禅体験は美しく、日本の文化をより深く知る機会になったといった声が多数ありました。
2021 年 5 月 27 日（木） 9:00～10:45 宮城県 南三陸町	【南三陸町（被災地交流）】 1. 講師紹介 2. 南三陸町観光協会による南三陸町概要・被災当時の状況についての説明 3. 講師との意見交換会 4. 感想共有	「被災して、家も友人や家族も何もかもが無くなり、地域から離れ、投げ出されたくなかったのか」といった質問や「『まずは自分の身を守る』という教訓は、自分をはじめ家族や周りの人々、コミュニティを助けることを知って、非常に印象深かった」といった感想がありました。
事前プログラム終了後から本プログラム終了まで （6 月から 8 月までの間に公開）	【動画視聴】 1. 日本理解講義 2. ホームビジット体験 3. 日本文化理解（京都） 4. 広島ピースツアー 5. 愛知の魅力～産業、最先端技術～	事前プログラム開催期間終了後から本プログラム開始前までに日本やプログラムに関する動画を配信し、参加者は動画を視聴してから本プログラムに参加しました。
本プログラム		
2022 年 3 月 2 日(水) 9:00～10:30 東京都	【オリエンテーション】 【アイスブレイク】 【参加者意見交換】	全体説明後はグループ別参加者間交流の場が設けられ、プログラム参加のきっかけや日本との関りなど意見交換がなされました。
2022 年 3 月 8 日(火) 9:00～11:30 兵庫県	【ウェビナー・質疑応答】 「コロナ禍によって明確になった ICT の重要性：日本と中南米へのインプリケーション」 講師：神戸情報大学院大学 副学長・特任教授 内藤 智之 氏 【参加者間での振り返り】 1. 講義	インターネットを活用してできることとできないことを見極めることが必要になることの他、今後のビジネスの着眼点について考える機会となりました。参加者からは、自国でも ICT の普及や利活用に関する同様の調査分析を行っているというコメントがあり、今後、地域をまたいだ ICT

	2. 質疑応答 3. 参加者間での講義振り返り	による日本と太平洋同盟諸国との協力関係の構築が期待されました。
2022 年 3 月 10 日（木） 9:00~11:30 東京都	【ワークショップ・参加者間交流】 1. プレゼンテーションの発表 「日本の魅力や強み、身近にある中南米とのつながり」 2. 感想発表、意見交換 【参加者意見交換】 3. アクション・プラン策定、発表準備	日本の大学生及び大学院生による日本の魅力紹介にインスピレーションを受けました。日本の学生の発表の後、参加者は「宮崎駿監督のアニメ作品や、近代の漫画アニメ文化と日本伝統文化と呼ばれるものの共存について世代間意識に差があるか」という質問をしました。
2022 年 3 月 11 日(金) 9:00~10:40 東京都	【ウェビナー・質疑応答、交流】 1. 開会 2. 講義（浮世絵実演、工房見学、浮世絵作品紹介） 「レクチャー『江戸木版画』」 講師：株式会社高橋工房 代表取締役 高橋 由貴子氏 3. グループディスカッション 4. 質疑応答 5. まとめ、講評	工房内の摺師の作業工程や作品への関心が高く、画面を見ながら熱心に説明を聴講しました。グループ鑑賞時は、一つの絵からできるだけ多くの情報を読み取ることを意識して、描かれた要素を分析していました。浮世絵の鑑賞を通じて日本の伝統文化への理解を深めました。
2022 年 3 月 14 日(月) 9:00~11:00 東京都	【ワークショップ】 【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評 外務省中南米局中米カリブ課 主査 吉崎 茉耶 氏	プログラム参加後 3 か月以内に実施するアクション・プランについてグループごとに発表しました。日系社会グループのスペイン語圏とポルトガル語圏の各グループ、太平洋同盟グループ、ブラジルグループの計 4 グループの合同報告会となりました。

2. 記録写真

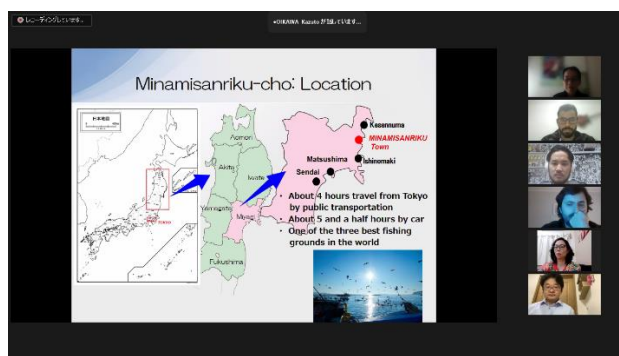
事前プログラム



2021 年 3 月 30 日【ウェビナー・質疑応答】 質疑応答の様子



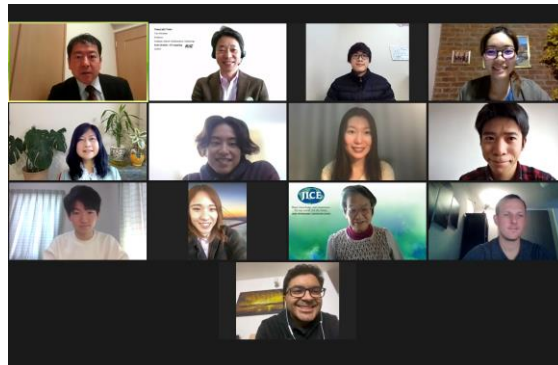
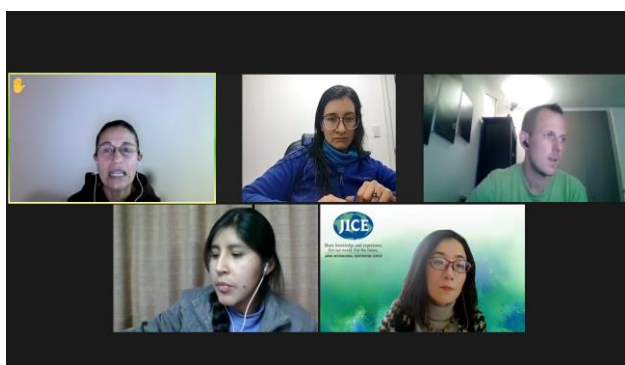
2021 年 4 月 27 日【ウェビナー・質疑応答】 日本商工会議所の講義の様子



2021 年 5 月 11 日【日本文化体験】 坐禅の方法についての説明・実演

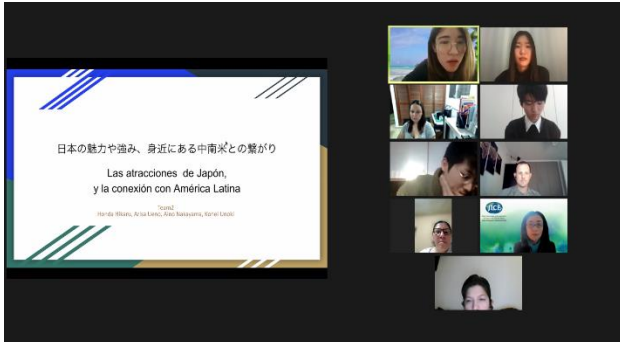
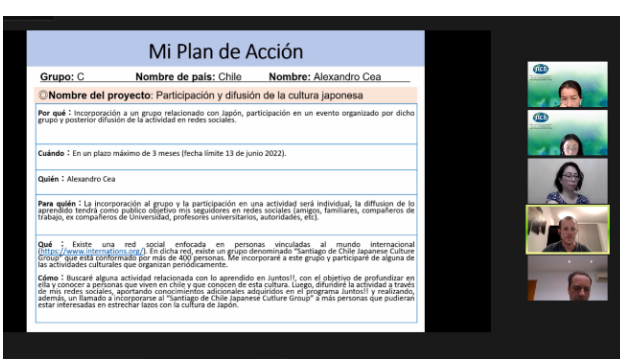
2021 年 5 月 27 日【南三陸町（被災地交流）】 南三陸町概要・被災当時の状況についての説明

本プログラム



2022 年 3 月 2 日【オリエンテーション】 少人数での自己紹介

2022 年 3 月 8 日【テーマ関連講義】 講師との記念撮影に臨む参加者

	
2022 年 3 月 10 日【参加者間交流】 日本の学生の発表を聞く参加者の様子	2022 年 3 月 10 日【参加者間交流】 プログラムの最後で集合写真を撮影する様子
	
2022 年 3 月 11 日【ウェビナー・質疑応答、交流】浮世絵「神奈川冲浪裏」摺り作業のバーチャルツアーの様子	2022 年 3 月 11 日【日本文化体験】 浮世絵工房の講師と笑顔で記念写真を撮影する様子
	
2022 年 3 月 14 日【報告会】 アクション・プランの発表をする参加者	2022 年 3 月 14 日【報告会】 発表後に最後の集合写真を撮影する様子

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ ペルー 社会人

オンライン事前交流プログラムは、日本について（文化、経済、歴史、ラテンアメリカの国々との関係）準備し、学ぶことができるので重要です。また、プラットフォーム上の説明やコンテンツは分かりやすく、勉強になります。

◆ ペルー 社会人

オンラインプログラムのトピックは非常に興味深いものでした。日本で行われている、中小企業を支援するための施策について知ることができました。さらに他のラテンアメリカ諸国の人々と情報や経験について共有することもできました。

◆ チリ 社会人

プログラムの内容は非常に関心の持てるものだったので、日本を訪れてその文化を理解したい気持ちが高まりました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 一般社団法人 南三陸町観光協会

甚大な災害であった東日本大震災について、事後の住民の心情や復興へ向けての活動についてなど、短時間ではありましたが伝えることができたと思います。

◆ 協力団体担当者

浮世絵を題材にしたグループディスカッションでは、日本人の私たちでは気づかないような視点を知れてとても感心したほか、参加者の皆さんが積極的に講師とコミュニケーションを取っている姿が印象的でした。

5. 参加者の対外発信、報道記事

	
2021年3月30日 (Instagram) #jice の#juntos プログラムが始まります！次のステップが楽しみです！！	2021年5月13日 (Twitter) 先日、Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラムのバーチャル坐禅体験をさせていただきました。精神的、肉体的、そして精神的に良い影響を与えることで世界的に知られている禅の瞑想について垣間見ることができました。

■ 2021年6月14日

「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」実施レポート

■ 実施概要

【団体】 外務省が推進し、JICE（一般財団法人日本国際協力センター）が実施する「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」参加者の皆様

【日時】 2021年5月27日 9:00～10:45

【人数】 47名

■ Juntos!!リアルタイム交流会の様子

南三陸町では、日本国内にかかわらず、海外の方々とも交流を行い、多くの縁を繋いできました。

今回、一般財団法人日本国際協力センター（以下JICE）様主催の下、中南米にお住まいの方々と南三陸町の復興の担い手たちが、ZOOMを使ったリアルタイム交流会を行いました。

初めに一般財団法人南三陸町観光協会事務局長の及川より、南三陸町の概要をご説明しました。英語に翻訳したデータや写真を共有し、南三陸町の震災時の状況や復興の様子をお伝えしました。



その後、10グループに分かれて交流を行いました。今回、南三陸町の講師として参加されたのは行政、観光、福祉など、それぞれの分野で活躍されている10名の方々。講師の方から、自身の震災時の経験や現在行っている活動について説明していただいたり、意見交換に入りました。

2021年6月14日 南三陸町観光協会

（中略）JICE 様主催の交流会に参加された方々は、中南米で行政や教育、報道に携わる方々です。そのため、南三陸町での防災対策や行政の取り組みに対して、自分の国にはどう生かせるか、という視点でお話を聞いている様子でした。

震災当時、南三陸副町長を務めていた遠藤健治さんのグループでは、防災についての意見交換が行われました。町の職員として被災者の対応や復旧に携わってきた遠藤さん。南三陸町は1960年のチリ地震の津波を経験したことから、行政はかなり高い水準の防災対策を講じてきたそうです。しかし、東日本大震災では、想定していた高さをはるかに越える津波がきたことから、自然災害というのは予想外のことが起きるものなのだと感じた、と語りました。

その話を受けて、「コスタリカでも津波が起きることがある。津波が起きた時のために、行政が働きかけられることはなんだろうか」という質問が出ました。それに対し遠藤さんは、ハザードマップなどを用いてエリアの災害リスクを市民へ周知することが大切だ、と答えます。行政の力では防げないことも多くあり、行政が被災することもある、住民全員が自分の住んでいる災害リスクを把握し、自分の命は自分で守るように意識を持つことが大切だと、遠藤さんは感じたそうです。

他にも質問は、「防災メッセージを普及するためにどのような技術を使用しているか」など具体的な分野に及び、時間いっぱいまで活発な意見交換が行われました。

参加した方からは、「被災地の方々の経験を聞いてとても感動し、多くのモチベーションを得ることができた」「コロナ禍のために対面での交流はできなかったが、震災後、生きている人たちとつながり、お互いの体験を語るだけで、団結する力や絆が強まり、共感する心が生まれるものだと感じた」等の感想をいただきました。

6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

チリ参加者	
	【日本文化への参加と普及】 ■ 実施理由： 日本に関わるグループに加わり、そのグループが企画するイベントに参加し、今後 SNS で活動を広めたいと考えます。 ■ 実施時期： 3 ヶ月以内（2022 年 6 月 13 日までに） ■ 実施する者： 参加者本人 ■ ターゲット： 個人の活動として（日本に関心のある人から成る）グループに加わり、その活動に参加します。そのような活動の場で学んだことを発信する対象者は自信の SNS のフォロワー（友人、家族、同僚、学友、恩師、当局関係者等）とします。 ■ 実施計画： 国際社会で活躍する人たちに焦点を合わせたソーシャルネットワーク（https://www.internations.org/）が存在します。このネットワークの中に、「チリ・サンティアゴ市日本文化グループ」という名で 400 人以上の参加者から構成される団体があります。このグループに加わり、定期的に行われる文化活動に参加していくことを計画しています。 ■ 実施方法： Juntos!! で学んだことに関連する活動を探し、知見を深め、チリ在住の日本文化に詳しい人と知り合うことから始め、「Juntos!!」で得た知識を盛り込んで自身の SNS を通じた普及活動を進めます。加えて、日本文化に触れたいと考える人により多く「チリ・サンティアゴ市日本文化グループ」へ参加してもらうよう、呼びかける活動の実施を計画しています。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）